

M-6-1-18

資料名 日本海商業委員會資料 第一輯

日滿最短徑路と日本海に就て

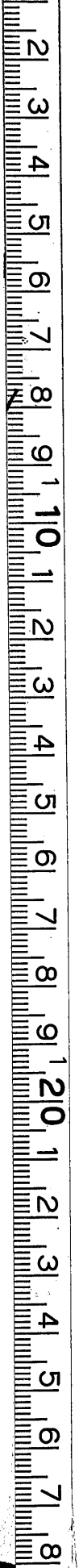
出所 日滿實業協會

作成年 19351118

寄贈者 編者

受入

注記 24P 26×19cm



昭和十年十一月

# 日本海商業委員會資料

第一輯

日滿最短徑路と日本海に就て

日滿實業協會

寄贈者  
日滿實業協會  
年 月 日

## 日滿最短徑路と日本海に就て 目次

一、緒言	一
二、京圖線敷設の起源	一
三、支那側の壓迫	二
四、京圖線完成	三
五、第三經路京圖線の重要性	四
六、五省會議と北鮮	四
七、羅津を中心とする裏日本と北滿及東北滿洲との關係	五
八、羅津港、雄羅線の建設と其の使命	六
九、清津港と雄基港の使命	七
十、日本海々運の現状	七
十一、滿鐵の運賃施設と其の効果	九
十二、日本海の船運賃	一〇
十三、裏日本より滿洲移民	一一
十四、日本海々運の將來	一二
十五、結 論	一三

添附

一、日本輸入貨物船運賃比較表	一五
二、日本輸出貨物船運賃比較表	一五
三、横濱着貨物船運賃表	一六
四、名古屋着貨物船運賃表	一六
五、門司、(下關) 神戸、大阪着貨物船運賃表	一七
六、新潟、敦賀、伏木着貨物船運賃表	一七
七、伏木發船運賃比較表	一八
八、敦賀發船運賃比較表	一九
九、新潟發船運賃比較表	二〇
十、門司、神戸、大阪發船運賃比較表	二一
十一、横濱(清水)發船運賃比較表	二三
十二、名古屋發船運賃比較表	二三
十三、鐵道省と同一等級による滿鐵との連絡扱敦賀、伏木、新潟、及小樽發北鮮各港着運賃	折込
十四、小樽、函館發北鮮港着運賃	二四
十五、昭和十年八月改正に依る裏日本各港積北鮮港揚新舊船運賃比較表	二四

## 日滿最短經路と日本海に就て

### 一、緒言

日滿間の交通は從來大連港經由及朝鮮縱貫線經由の二線に依つて行はれて來たが、滿洲事變を契機として永年待望の第三交通路としての京圖線北鮮經由の陸上運輸施設は完成し日本海は正に内海化さんとしつつあることは眞に慶祝に堪へない。が然し日本海々上に於ける運行施設は依然舊態の儘であつて、今日尙第三交通路設定の國策に順應すべき改善の曙光をすら認め得ず、水陸跛行的狀態の儘放任せられあるは誠に遺憾とする所である。

### 二、京圖線敷設の起源

北滿と日本との最捷經路である第三交通路に就ては所謂「吉會線問題」として三十三年の永い歴史を有つて居る、即ち明治四十年四月日清間に締結せられた吉長鐵道に關する協約に依つて新京吉林間の鐵道建設が決定せられた事に其の端を發して居ると云つてよい。次で四十二年九月、日支間に締結せられた「間島に關する協約」で吉長鐵道を延長し延吉を経て國境圖們江を渡り、會寧に於て朝鮮鐵道に連絡する事を定め、茲に吉會鐵道の輪廓が明かにせられた。而して大正七年には「吉會鐵道借款豫備契約」が成立して吉會鐵道問題は漸く具體化し、大正十二年

滿鐵との間に「吉敦鐵道建造請負契約」が成立し吉林敦化間二二キロの鐵道が昭和三年十月に開通を見たのである。是より先き飯田延太郎氏は吉林省政府の許可を得て圖們江の江岸、上三峰より先頭溝に至る六〇キロの大圖輕便鐵道を敷設し大正十三年七月には已に其の開通を見て居た。又昭和二年には張作霖と滿鐵との間に敦化より老頭溝を経て圖們江江岸に至る鐵道、其の他所謂「滿蒙五鐵道の建造請負契約」を締結した。

### 三、支那側の壓迫

然し、是より先き支那政府、特に東北政權は鐵道敷設熱、利權回收熱を利用して日本の權益の根幹を滿鐵打倒滿鐵線包圍政策を採り、吉會鐵道の完成を阻んだのみならず、大體昭和元年より五年に至る間に自國の資本、自國の技術に依つて打通線、吉海線、洮索線（以上官有）瀋海線、呼海線、齊克線（以上官民合辦）の建設に着手し又四年には東北交通委員會なる中樞機關を設置して胡蘆島を起點とする三大幹線即ち

東大幹線——胡蘆島より奉天、吉林、依蘭、同江を経て黑龍江岸の撫遠に至る鐵道

西大幹線——胡蘆島に發し打虎山、通遼、洮南、チチハル、訥河を経てブラゴエスチエン

スクの對岸、黑河に至る鐵道

南大幹線——胡蘆島を起點として錦州、朝陽、赤峰を経て多倫に至る鐵道

の建設を決定すると共に大連港の繁榮を奪取する目的を以て胡蘆島に大築港を計畫し、昭和五

年張學良は自ら文武百官を率いてその起工式を舉行したと云ふ有様で、日本の待望せる吉會鐵道の建設は全く低迷状態に陥つたのである。

### 四、京圖線完成

然るに昭和六年九月十八日柳條溝に於ける滿鐵線の爆破に依つて滿洲事變の幕は切つて落され、翌年三月一日には五族協和を國本とし王道樂土をモットーとせる滿洲國は建國せられた。吾國は日本の生命線を確保し東洋平和確立の礎石として滿洲國の建國工作及發達伸長にあらゆる力を竭することになった。鐵道河川港灣等の交通機關は、滿洲國より吾國が委託を受けたる國防治安と密接不可分の關係にあるのみならず、日滿經濟プロツクの統制助長、其の他各種の便益上、滿鐵は是等鐵道河川港灣及附帶事業の經營の委託を受け、又必要なる新線建設の委託をも引受くることとなつた。特に事變突發直後、獨立を宣言した吉林省熙哈長官は敦化より圖們江江岸の圖們市迄の鐵道及間島朝陽川より分岐した同江岸上三峰に至る南廻り鐵道の建設、並に兩線共に圖們國境梁を架設して北鮮鐵道と連絡を計る必要を認め、其の急速施工に關し滿鐵は省政府より懇請を受けたのである。

當時、敗殘兵匪賊の出沒常なく治安尙混沌たる實狀にあつたけれども、滿鐵は欣然之を快諾して六年十一月には決死隊を送つて其の測量を進め、爾來匪賊の襲撃拉致等幾多の犠牲を拂つて昭和八年四月之を開通せしめたのである。茲に所謂吉會鐵道は完成して京圖線と稱し、永年

待望せる日本北滿間の最捷經路を現出したのである(新京圖們間五三〇キロ)。

### 五、第三經路京圖線の重要性

試みに東京新京間の距離に付て在來の第一第二交通路と此の新交通路とを比較して見ると

- 第一交通路(大連神戸經由) 二、八九〇軒
- 第二交通路(朝鮮縱貫線經由) 二、七六〇軒
- 第三交通路(羅津新瀉經由) 一、九二五軒

であつて實に三分の一を短縮する結果となつた。

更に吉林敦化の中間拉法より哈爾濱に至る拉賓線二七〇キロは九年夏より本營業を開始し北滿の心臟ハルピン東京間は從來第一交通路三一三〇キロ、第二交通路三一〇〇キロであつたものか新交通路に於ては一九八〇キロとなり一一二〇キロ乃至一一五〇キロを短縮せられたのみならず更に拉賓線の終端ハルピンに於て松花江を渡り賓北線に依り北滿の穀倉地帯を最捷經路に依つて連絡し尙今春開通した北黑線に依つて一路、黑龍江岸北門の要地、黑河とを連絡し、又賓州線(哈爾濱滿洲里間)に依りチチハル海拉爾マンチュリーをはじめ西比利、歐洲各國に屬し國際連絡短距離線を形成するに至つた。

### 六、五省會議と北鮮

この機運に乗じて第三主要交通路たる實質を完備し、日滿間の共榮協調に資せんが爲め、東京政府は所謂五省會議に於て慎重審議の上北滿の大門戸として北鮮羅津港を開設し、北鮮鐵道の終點雄基と羅津埠頭とを連接する爲め雄羅鐵道を敷設する事とし、滿洲國鐵道の經營者たる滿鐵をして是等を建設經營せしめ、更に清津以北の北鮮鐵道三三〇キロは滿鐵をして總督府より受託經營せしめ、以て滿洲國關東州北鮮に於ける鐵道及港灣の一元的直營に當らしむるのみならず、清津雄基兩港は羅津港の補助港たらしむる關係上兩港の終端施設をも滿鐵をして直營せしむる事に昭和七年四月廟議の決定を見たのである。

### 七、羅津を中心とする裏日本と北滿及東北滿洲との關係

羅津港の位置に付て特に吾人の注意を喚起するものは從來の交通路は第一、第二共に日本内地の全體から見て稍や西に偏するに反し、新式通路の滿洲側門戸たる羅津港と南は關門より北は小樽に至る裏日本各港との距離は何れも放射線的に九〇〇キロ前後の距離に在るのみならず、羅津港を起點とする滿洲國鐵道網は亦放射線狀の形態を採り、前記の新京ハルピンに至る京圖線拉賓線及之に接續する濱洲線、濱北線、北黑線等に依つて國境マンチュリーや黑河に至り又圖們より北上して間島の肥沃地並大森林地帯を過ぎ、寧古塔を經牡丹江に於て濱綏線とクロスする圖寧鐵道二五二キロは本年七月開通し、更に北を指して數億噸の優良炭を埋藏せる林口(林口より羅津埠頭まで五二七キロに過ぎず)を經、勃利沃野を吾國よりの集團農業移民の

定着地方を経て松花江岸チャムス港に達する寧佳鐵道三〇四キロは現に工事進捗中である。林口より東して密山大炭田地方に至る鐵道一三二キロは昨年末豫定線として發表せられ近く工事に着手する筈であるが、密山附近から北上してハバロフスクに近き黒龍江岸撫遠に達する鐵道（約六五〇キロ）や密山から更に東して國境虎林に至る鐵道（約二二〇キロ）建設の如き恐らく時の問題であらうと思ふ、即ち滿洲國內産業の開發に順應して羅津港を起點とする放射線狀鐵道網は益々其の密度を濃かにする事となり裏日本と滿洲の關係は産業開發上、貿易進展上益々密接となることは明である。

#### 八、羅津港、雄羅線の建設と其の使命

斯の如く羅津港は有利な地理的關係に在るのみならず北滿と東部日本及裏日本との間に出入する物質や、來往する旅客の門戸であり又浦鹽港に代り北滿の特産物石炭等大量物資の支那及歐洲向輸出門戸であると云ふ大使命に鑑みて、其の築港規模は遠大に計畫せられたこと素より當然である。即ち南滿三港の王座大連港と略ぼ等しい大吞吐港として九〇〇萬噸の吞吐能力を保有せしむる事に閣議の決定を見、工事は之を三期に分ち、第一期工事は三〇〇萬噸の計畫で更に第二期、第三期工事の繼續施行を豫期して用地買収や水道設備等は九〇〇萬噸の吞吐能力に適應する施設をすることになった。

滿鐵は昭和七年秋、約三六〇萬圓の豫算（内第一期工事豫算は約一六〇萬圓）を以つて工を起

し、已に五〇萬噸を吞吐し得る岸壁が竣工し、昭和十二年秋までには三〇〇萬噸の吞吐能力ある第一期三工事を完成せしむる筈である。尙滿鐵は東京政府の指令に基いて羅津港と北鮮鐵道の終端雄基とを連絡する雄羅鐵道一六キロを朝鮮私設鐵道法に依つて建設することとなり、約三七〇萬圓の豫算を以て築港起工と同時に着工し豫定の工程を終へて十一月九日竣工式を舉行された筈である。永年待望の日滿間第三經路完成に一大エポックを爲すもので、日滿兩國の爲誠に欣慶に堪へない。

#### 九、清津港と雄基港の使命

尙清津港は日滿間輸出入物資に付て羅津港の補助港たる使命を有するのみならず、北鮮の地方的物資特に將來茂山線方面の資源が開發せらるるに至らば大なる活動を見るに至ると思ふ。現に工事中の設備が完成せば一〇〇萬噸の吞吐能力を保有する筈である。雄基港も亦日滿間輸出入物資特に木材石炭の取扱を特徴とする羅津の補助港であり又鮮内の地方的物資の出入を使命とするものであつて將來木材取扱に關する湖水利用の小施設を爲せば現在の六〇萬噸吞吐能力と相俟つて相當活潑な動きを見せることと思ふ。

#### 十、日本海海運の現状

鐵道省に於ても第三交通路完成の爲め東京新潟間の輸送量増大、列車のスピード、アップ等

に付て調査研究中であると聞く、又裏日本諸港に於ける背後地との連絡施設、倉庫、金融機関  
其の他の必要施設に付ては物資の吞吐、旅客の來往の増進に應じて自ら改善施設せらるべしと  
雖も、日本海海上に於ける定期運航機關の整備に至つては吾人寡聞にして未だ第三交通路設定  
の國策に順應せる何等の計畫あるを耳にしない。滿鐵が滿蒙に於ける國策實行機關としては日  
滿間第三經路設定の國策顯現の爲めに、元來租税を以て施設すべき羅津港修築その他に大犠牲  
を拂ひ、採算上或は永久に酬はれざる數千萬圓の投資をなせるに拘らず、是れと脣齒輔車の關  
係に在る。日本海海上の輸送施設改善に付、今日尙、其の曙光をすら認め得ざる現狀に在るこ  
とは日滿間交通の爲め頗る遺憾であり、又關係當局の方針に尠なからざる疑念を抱くものであ  
る。勿論日本海上に於ける交通機關も亦數年間乃至十數年間の赤字を覺悟せねばならぬだらう  
か、船足の快適なる六、七千噸級の優秀船を整備して少くとも隔日位に的確な定期運航を爲す  
にあらざれば、如何に哈爾濱を始め北滿各地と日本東部地方並裏日本各地とを殆んど直線的に  
繋ぐ第三交通路が空間的には短絡線であつても大連港經由路や朝鮮縱貫線經由路の迅速、的確  
優秀なるサービスに對しては太陽下の螢光の如き存在となり、國策實現は思ひも寄らぬ事と思  
ふ。

現在、北鮮三港と新潟港敦賀港間、命令航路に従事せる船舶は

笠戸丸	二四二二噸	毎月一回又は二回航海
新京丸	二六七二噸	毎月三回航海

嘉義丸 二三四七噸 毎月三回航海

(以上新潟航路)

滿洲丸	三〇五三噸	毎月三回航海
さいべりや丸	三四六一噸	毎月三回航海
慶安丸	二〇九一噸	毎月二回航海

(以上敦賀航路)

その他溫洲丸一八五噸紅海丸一二六噸が北鮮樺太間運航の途中に滑川魚津新潟小樽に寄  
港するに過ぎない慥れむべき状態である而して其のスピードの如きは時速一九キロ乃至二四キ  
ロで誠に問題にならぬ。

### 十一、滿鐵の運賃施設と其の効果

昨年春、滿鐵が北滿輸出入物資をして出來得る限り第三交通路を利用せしめんとしてハルピ  
ンより北鮮三港に至る運賃を南滿三港に至る運賃に比し著しく有利に割引特定せしも、日本海  
の船舶運賃率は大連内地間運賃率に比し約倍額なるのみならず、其の輸送に長時間を要し且船  
繰り緩慢にして荷物の到着時日豫定し得ず、自然金融上に支障多き爲、利に賢なる荷主は殆ん  
ど利用しなかつた。引繼ぎ滿鐵は第三交通路の寂寥を好轉せしむる爲輸出入物資に對し運賃の  
特定割引、其の他連絡運送上の便益を講じ更に本年六月には日滿間主要取引物資約六十種に對



し大幅の運賃引下げを斷行せしも依然其の効果は見るべきものが無い。

最捷經路たる以上は日滿間旅客の來往上、大に利用せらるべき筈なるに拘はらず夏期に於てすら日本海經路に依る旅客の極めて僅少な事は、内地及滿洲に於て旅客列車のサービスに尙幾多改善の餘地ある事も其の一因なるべきも、其の根本原因は日本海上運航機關の極めて貧弱なる爲である。況んや冬季、日本海上怒濤逆く季節に於ておやである。

## 十二、日本海の船運賃

日本海の船運賃は末尾添附の表に示す如く大連表日本及大連裏日本間の運賃に比し最高約二十割、最低に於ても尙三割強の高率である爲、如何に北鮮背後地の鐵道を建設し如何に鐵道省に於て陸上施設を改善爲すとも裏日本の産業開發貿易の進展に貢獻することの困難なるは明らかである。

若し日本海の運賃が大連表日本間の運賃と同様又は其れと近似なる運賃が設定されるならば日本海沿岸裏日本の産業開發は期して俟つべきものがあると思ふ、差當り豆粕運賃の低下の如きは裏日本一帯の養蠶並米作等に好影響を與へることは勿論之に依つて其の背後地の商業勢力圏を擴張し又之を契機に他の運賃も同様低下せば圖寧線沿線及寧佳線の沿線の物資と相俟つて裏日本一帯に商工業の勃興を來すことは何人と雖も之を否定することは出來まい。

現在の處船運賃高率なる爲貨物の動き少く貨物の少きを爲高率運賃は止むを得ずとの二つの相

矛盾する理由が常に相循環して解決點を見出すことの困難なる状態にあるが今日日本海の運賃を急激に低下せしむることに依り急激に貨物の増加することは不可能にして數年間は恐らく赤字を覺悟する必要がある果して此の赤字を負擔すべきものは何者なるや少くとも其の期其の期の決算に頭痛鉢卷の所では到底之を實施することは困難である宜しく相當の資本を有し國策に順應して黒字を將來に樂しみ得る資格を有するものたることを要するは勿論である果して之を如何にすべきかは大方諸賢の公正妥當なる意見を待つものである。

## 十三、裏日本より滿洲移民

滿洲に日本より移民の能否に付きては已に研究論議を盡され近く日滿合辦の二千五百萬圓の移民會社が設立されることに決定し居るが如何なる移民が適するや工業移民、農業移民、林業移民等種々あるが最も有望なるものは農業移民である、而も移民を出し成る地方は裏日本及東北各縣の農民が最も適當である。

近年我が日本に於ては水災、震災、冷災、颱風災等裏日本及東北各縣に於ては連年引續き農民の疲弊其の極に達すると雖も滿洲に於ては其の土地曠大選定の如何に依ては日本より遙かに恵まれ居ることは已に明瞭である。

一攫千金を夢見一代に成功錦を故郷に飾ることは移民の性質上困難にして斯る淺薄なる思想を有せず質朴其のものなる裏日本及東北各縣の農民こそ眞に其の將來の成功を約束付けられ居

るものにして一度日本海が内海化し湖水化するに於ては其の勢知るべからざることを思考させるのである。従つて之等に依る北鮮裏日本間の物資の移動も當然の結果として豫想せられる處にして日本海海運の改善が如何に裏日本の經濟發展に貢獻するかは三歳の童子と雖も直ちに首肯し得る處である。

#### 十四、日本海々運の將來

遞信省は本春四月、日本海運航の各社に懲憚して合併を爲さしめ日本海汽船株式會社の創設を見るに至つた事は誠に可なりと雖も、同時に之をして國策に順應する少くとも時速三五キロ位を其の經濟速度とする六、七千噸級の快速船を建造して隔日位に運行せしむることを懲憚せなかつた事は眞に畫龍點青を缺くものなりと思ふ、勿論かかる優秀船の就航に付ては前述の如く數年又は十數年間に亘り會社が相當額の犠牲を拂ふか、然らずんば關係官廳より相當額の補助を爲すを要するだらう。(然し其の酬はる日は案外近き將來かも知れぬ、大阪商船會社が大英斷を以て大連航路に善美を盡した優秀船をどしどし建造し而も相互に日發連航を目指した彼の計畫に對して最初豫期した大犠牲は今日全く杞憂であつた事を立證して居る。)兩者共若し實行困難なりとせば更に他の方法、即ち鐵道省經營の連絡船を運航せしむるとか、又は滿鐵系會社を設立せしめ其の衝に當らしむるとか、其の他適當な方法を實行するにあらざれば五省會議にて月餘に亘つて慎重審議し更に閣議に計つて決定した國策は、陸上施設及汽車連絡施設に

於て如何に巨大なる犠牲を拂ふも、日本海上施設の缺如の爲め水陸跛行的となつて實現の機なく、羅津港及背後鐵道の建設は單に一朝有事の際に於てのみの有用視せらるる施設たるに終るだらう。

#### 十五、結論

北鮮三港には已に滿洲國稅關進出して日滿共同通關を實施し滿鐵は羅津港を建設し其の背後地に於ける既設の線路は益々其の施設の改良に努め或は新線の建設に努力し或は合理的の運賃設定に付研究を進める等著々其の進行を見つつあり又鐵道省に於ては列車のスピードアップ優秀客車の廻送等に努力しつつありと聞くが日滿兩陸路を繼ぐ海運に對しては未だ何等の計畫あるを聞かず。

裏日本北鮮及東北滿洲の産業開發、貿易進展には有力なる取引機關金融機關の進出、資本家及事業家等の誘致、港灣の改修等幾多解決を要するものありと雖も先づ第一に整備を要するものは交通機關である、交通機關を整備せば他の問題は漸を遂つて解決することは明である日滿第三交通路の方針は已に五省會議に於て決定を見、日滿兩陸路に於ける交通の整備に付きては著々其の進行を見つつありと雖も獨りカンジンの海運のみ放置して顧みられざるは誠に遺憾しにて之が解決には關係各機關各位の熱烈なる理解と努力に俟つ外なきものと確信するもぞである。

(一) 日本輸入貨物船運賃比較表 (噸當)

(滿鐵との連絡扱による)

品名	著港	發港	運送料程	運賃比較 (割合)			
				北鮮高'最高 割	北鮮高'最低 割	平均北鮮高 割	1 噸當 北鮮高 割
大豆 及 豆包	橫濱	大連 北鮮	2.245	19.19	5.16	8.75	11.76
			1.988				
花生 及 落花生	名古屋	大連 北鮮	2.226	16.81	5.15	7.14	12.78
			1.632				
鑛石 及 雜穀類	下關、門司 大阪、神戸	大連 北鮮	平均 1.434	19.13	4.25	9.01	12.85
			平均 1.192				
豆油、種子油 滑石、セメント 種子類	新伏 敦賀	大連 北鮮	平均 1.967	13.33	5.00	8.85	11.67
			平均 903				

(二) 日本輸出貨物船運賃比較表 (噸當)

品名	發港	著港	運送料程	運賃比較 (割合)			
				北鮮高'最高 割	北鮮高'最低 割	平均北鮮高 割	1 噸當 北鮮高 割
綿及絲 各種織物 及製物品	橫濱	大連 北鮮	2.245	16.25	2.72	6.46	8.25
			1.988				
金屬及其製品 食料、飲料及嗜好品	名古屋	大連 北鮮	2.226	0.77	0.77	0.51	3.44
			1.632				
生果、野菜 藥品	門司 大阪、神戸	大連 北鮮	1.434	20.00	0.83	2.47	4.95
			1.192				
油脂及蠟 紙及文房具	新瀉	大連 北鮮	2.240	4.54	0.50	0.07	14.60
			910				
木、竹及 草製物品	伏木	大連 北鮮	2.018	7.13	0.91	0.71	13.44
			925				
硝子製品 及陶器 雜貨	敦賀	大連 北鮮	1.650	9.05	0.25	1.86	14.00
			875				

(五) 門司(下關)神戸、大阪著貨物船運賃表  
(滿鐵との連絡扱による商船、日郵、近郵、大汽、岡崎各社)

品名	單位	大連發		北鮮發		比較	割合 (%)
		1.130K 1.575K 1.507K	897K 1.336K 1.354K				
大豆	1,000 疋又は 122 立方米 1疋につき(圓)	* 2.20	6.41	△ 4.21	19.13		
		5.00	關門 7.89 阪神 8.89	△ 2.89 △ 3.89	5.78 7.78		
豆粕		* 1.90	3.58	△ 1.68	8.84		
包米		* 2.20	5.64	△ 3.44	15.63		
落花生		* 2.50	5.42	△ 2.92	11.68		
鑛及鑛石		3.90	5.56	△ 1.66	4.25		
雜穀類		* 2.20	5.64	△ 3.44	15.63		
豆油、種子油		* 4.70	4.32	0.38	0.81		
滑石、セメント		3.30	關門 7.89 阪神 8.89	△ 4.59 △ 5.59	13.91 16.94		
種子類		* 2.50	5.42	△ 2.92	11.68		
平均		3.04	5.78	△ 2.74	9.01		
1 疋當		0.0021	0.0048	△ 0.0027	12.85		

(備考) 1. \* 印は積地船内人夫賃を含み其他は積、揚兩地の船内を含む  
○日郵、近海は鐵及鋼 2.70 滑石、セメント 2.70 (揚地船内人夫賃は含まず)  
○大汽は鐵及鑛石 2.00 滑石 3.50  
○岡崎は銑鐵 2.50 滑石、セメント 3.50

(六) 新潟、敦賀、伏木着貨物船運賃表

(滿鐵との連絡扱による大連發は大汽、北鮮發は日本海、北日本、各社)

品名	單位	大連發		北鮮發		比較	割合 (%)
		新 敦 伏 2.240K 1.650K 2.015K	新 敦 伏 910K 875K 925K				
大豆	1,000 疋又は 122 立方米 1疋につき(圓)	3.00	5.50(6.41)	△ 2.50	8.33		
		3.00	6.00(6.85)	△ 3.00	10.00		
豆粕		2.70	5.50(3.58)	△ 2.80	10.36		
包米		3.00	5.50(5.64)	△ 2.50	8.33		
落花生		3.30	6.00(5.42)	△ 2.70	8.18		
鑛及鑛石		3.00	7.00(7.22)	△ 4.00	13.33		
雜穀類		3.00	5.50(5.64)	△ 2.50	8.33		
豆油、種子油		4.00	6.00(4.32)	△ 2.00	5.00		
滑石、セメント		3.00	6.00(7.22)	△ 3.00	10.00		
種子類		3.30	6.00(5.42)	△ 2.70	8.18		
平均		3.13	5.90	△ 2.77	8.85		
1 疋當		0.003	0.0065	△ 0.0035	11.67		

(備考) 1. 大連發は積地船内人夫賃を含む 2. 北鮮發は揚地接續費を含む  
3. 大連、北鮮發共済三港同一率なり 但し朝野による北鮮發敦賀着は多少異なる 括弧内参照

(三) 横濱著貨物船運賃表  
(滿鐵との連絡扱による商船、日郵、近郵、大汽、岡崎各社)

品名	單位	大連發		北鮮發		比較	割合 (%)
		2.245 疋	1.988 疋				
大豆	1,000 疋又は 122 立方米 1疋につき(圓)	* 2.60	7.59	△ 4.99	19.19		
		6.10	11.67	△ 5.57	9.13		
豆粕		* 2.30	4.33	△ 2.03	8.82		
包米		* 2.60	6.67	△ 4.07	15.65		
落花生		* 2.90	6.42	△ 3.52	12.13		
鑛及鑛石		4.40	6.67	△ 2.27	5.16		
雜穀類		* 2.60	6.67	△ 4.07	15.65		
豆油、種子油		8.30	5.22	3.08	3.71		
滑石、セメント		4.40	11.67	△ 7.27	16.52		
種子類		* 2.90	6.42	△ 3.52	12.13		
平均		3.91	7.33	△ 3.42	8.75		
1 疋當		0.0017	0.0037	△ 0.0020	11.76		

(備考) 1. \* 印は積地船内を含み其他は積揚兩地船内を含む  
2. 大連發は名古屋、横濱同率なり

(四) 名古屋著貨物船運賃表

(滿鐵との連絡扱による商船、日郵、近海、大汽、岡崎各社)

品名	單位	大連發		北鮮發		比較	割合 (%)
		2.226 疋	1.632 疋				
大豆	1,000 疋又は 122 立方米 1疋につき(圓)	* 2.60	6.97	△ 4.37	16.81		
		6.10	10.44	△ 4.34	7.11		
豆粕		* 2.30	3.83	△ 1.53	6.65		
包米		* 2.60	6.12	△ 3.52	13.53		
落花生		* 2.90	5.83	△ 2.93	10.10		
鑛及鑛石		4.40	6.67	△ 2.27	5.15		
雜穀類		* 2.60	6.12	△ 3.52	13.53		
豆油、種子油		8.30	4.77	3.63	4.37		
滑石、セメント		4.40	10.44	△ 6.04	13.73		
種子類		* 2.90	5.83	△ 2.93	10.10		
平均		3.91	6.70	△ 2.79	7.14		
1 疋當		0.0018	0.0041	△ 0.0023	12.78		

(備考) 1. \* 印は積地船内を含み其他は積、揚兩地船内を含む  
2. 日郵、近海は大連發銑鐵 3.20 滑石 3.20 の特定あり 但し揚地船内を含まず  
3. 大汽は大連發落花生、種子類 2.80 銑鐵 3.00 鐵及鋼 3.00 鐵及鑛石 3.00 豆油、種子油 4.00 の特定あり 但し揚地船内を含まず

(八) 敦賀發船運賃比較表 (大連汽船、※北日本汽船)

貨物品名	單位 1680斤 又は40才 1屯につき (圓)	大連著	北鮮著	比較	割合 (割)	
		1.650籽	875籽			
綿及糸	綿 (脫脂綿を含む) 絲 綿	4.95	6.00	△ 1.05	2.12	※は滿鐵との連絡扱による運賃
		5.85	6.00	△ 0.15	0.25	
		7.20	6.00-7.50-8.90			
各種織物及製品	綿布類	5.85	6.00	△ 0.15	0.25	
	綿衣類	5.85	7.50	△ 1.65	2.82	
	メリヤス製品	5.85	7.50	△ 1.65	2.82	
	襪	5.85	7.50	△ 1.65	2.82	
	毛織物、人絹織物	7.20	7.50	△ 0.30	0.41	
	綿、麻、毛製シャツ、ツボン下、タオル敷布	5.85	6.00-7.50-8.30			
	絹製衣服、絹織物	7.20	7.50-8.30			
金屬及其製品	鉄力及トタン板 鉄力及トタン製品 鐵及鋼製品	4.05	6.00	△ 1.95	4.81	
		4.05	6.00	△ 1.95	4.81	
		4.05	6.00	△ 1.95	4.81	
食料、飲料嗜好品	食料品 (罐詰、瓶詰類) 味噌 醬油 砂糖 鹽 乾魚 海魚 和麥 清涼飲料水 紙卷煙草 紅綠磚 茶 生野果 野菜 消毒劑 殺蟲劑 (危險品を除く) 除蟲粉 蚊遣線香 蠟燭又は蠟 パラフィン ワセリン ステアリン	4.95	6.00	△ 1.05	2.12	
		4.95	5.50	△ 0.55	1.11	
		4.95	5.50	△ 0.55	1.11	
		4.05	6.00	△ 1.95	4.81	
		4.05	5.50	△ 1.45	3.58	
		4.05	5.50	△ 1.45	3.58	
		4.95	6.00	△ 1.05	2.12	
		4.95	6.00	△ 1.05	2.12	
		4.95	6.00	△ 1.05	2.12	
		—	6.00	△ 1.05	2.12	
		5.85	6.00	△ 0.15	0.25	
		5.85	6.00	△ 0.15	0.25	
		5.85	6.00	△ 0.15	0.25	
		4.95	6.00	△ 1.05	2.12	
4.95	5.50	△ 0.55	1.11			
藥品	消毒劑 殺蟲劑 (危險品を除く) 除蟲粉 蚊遣線香	7.20	6.00	△ 1.20	1.67	
		7.20	6.00	△ 1.20	1.67	
		7.20	6.00	△ 1.20	1.67	
油脂及蠟	蠟燭又は蠟 パラフィン ワセリン ステアリン	4.95	6.00	△ 1.05	2.12	
		4.95	6.00	△ 1.05	2.12	
		4.95	6.00	△ 1.05	2.12	
		4.95	6.00	△ 1.05	2.12	
		4.95	6.00	△ 1.05	2.12	
紙及文房具	紙各種 紙製器具 文具 古新聞紙	4.95	6.00	△ 1.05	2.12	
		5.85	6.00-7.50			
		5.85	6.00	△ 0.15	0.25	
		5.85	6.00	△ 0.15	0.25	
木、竹、草製品	木製家具 竹製品 蓆 蓆 (疊、蓆表及安平を含む)	4.05-5.85	6.00	△ 1.95	4.81	
		4.05	6.00	△ 1.95	4.81	
		3.15	6.00	△ 2.85	9.05	
		4.05	6.00-7.50			
陶磁器及硝子製品	板硝子 硝子器 各種硝子器 陶磁器、土器	4.05	6.00	△ 1.95	4.81	
		4.95	6.00	△ 1.05	2.12	
		4.05-4.95-5.85	6.00	△ 1.95	4.81	
雜	玩具 雜物 (ゴム靴、地下足袋を含む) ゴム製品各種 帽子 化粧品、小間物 化粧石鹸 漆器具 漆農具 安全携寸	7.20	6.00	△ 1.20	1.67	
		4.95	6.00	△ 1.05	2.12	
		5.85	6.00	△ 0.15	0.25	
		5.85	6.00-7.50			
		7.20	6.00-7.50			
		5.85	6.00	△ 0.15	0.25	
		5.85	6.00	△ 0.15	0.25	
		4.05	6.00	△ 1.95	4.81	
		4.05	6.00	△ 1.95	4.81	
		8.10	6.00	△ 2.10	2.60	
		平均 1籽當り	5.31	6.80	△ 0.99	
	0.0080	0.0072	△ 0.0042	14.00		

(七) 伏木發船運賃比較表 (大連汽船、※北日本汽船)

貨物品名	單位 1.680斤 又は40才 1噸に付 き(圓)	大連著	北鮮著	比較	割合 (割)	
		2.018籽	925籽			
綿及糸	綿 (脫脂綿を含む) 絲 綿	5.50	6.00	△ 0.50	0.91	※は滿鐵との連絡扱による運賃
		6.50	6.00	△ 0.50	0.71	
		8.00	6.00-7.50-8.90			
各種織物及製品	綿布類 綿衣類 メリヤス製品 襪 毛織物、人絹織物 綿、麻、毛製シャツ、ツボン下、タオル敷布 絹製衣服、絹織物	6.50	6.00	△ 0.50	0.71	
		6.50	7.50	△ 1.00	1.53	
		6.50	7.50	△ 1.00	1.53	
		6.50	7.50	△ 1.00	1.53	
		—	—	—	—	
		8.00	7.50	△ 0.50	0.63	
		6.50	6.00-7.50-8.30			
金屬及其製品	鉄力及トタン板 鉄力及トタン製品 鐵及鋼製品	4.50	6.00	△ 1.50	3.33	
		4.50	6.00	△ 1.50	3.33	
		5.50	6.00	△ 0.50	0.91	
食料、飲料嗜好品	食料品 (罐詰、瓶詰類) 味噌 醬油 砂糖 鹽 乾魚 海魚 和麥 清涼飲料水 紙卷煙草 紅綠磚 茶 生野果 野菜 消毒劑 殺蟲劑 (危險品を除く) 除蟲粉 蚊遣線香 蠟燭又は蠟 パラフィン ワセリン ステアリン	5.50	6.00	△ 0.50	0.91	
		5.50	5.50	—	—	
		5.50	5.50	—	—	
		4.50	6.00	△ 1.50	3.33	
		4.50	5.50	△ 1.00	2.22	
		4.50	5.50	△ 1.00	2.22	
		4.50	5.50	△ 1.00	2.22	
		5.50	6.00	△ 0.50	0.91	
		5.50	6.00	△ 0.50	0.91	
		5.50	6.00	△ 0.50	0.91	
		—	6.00	△ 0.50	0.71	
		6.50	6.00	△ 0.50	0.71	
		6.50	6.00	△ 0.50	0.71	
		6.50	6.00	△ 0.50	0.71	
生果、野菜	生野果 野菜	5.50	6.00	△ 0.50	0.91	
		5.50	5.50	—	—	
		8.00	6.00	△ 2.00	2.50	
藥品	消毒劑 殺蟲劑 (危險品を除く) 除蟲粉 蚊遣線香	8.00	6.00	△ 2.00	2.50	
		8.00	6.00	△ 2.00	2.50	
		8.00	6.00	△ 2.00	2.50	
油脂及蠟	蠟燭又は蠟 パラフィン ワセリン ステアリン	5.50	6.00	△ 0.50	0.91	
		5.50	6.00	△ 0.50	0.91	
		5.50	6.00	△ 0.50	0.91	
		5.50	6.00	△ 0.50	0.91	
		5.50	6.00	△ 0.50	0.91	
級及文房具	紙各種 紙製器具 文具 古新聞紙	5.50	6.00	△ 0.50	0.91	
		6.50	6.00-7.50			
		6.50	6.00	△ 0.50	0.71	
		6.50	6.00	△ 0.50	0.71	
木、竹、草製品	木製家具 竹製品 蓆 蓆 (疊、蓆表及安平を含む)	4.50	6.00	△ 1.50	3.33	
		4.50	6.00	△ 1.50	3.33	
		3.50	6.00	△ 2.50	7.13	
		4.50	6.00-7.50			
陶磁器及硝子製品	板硝子 硝子器 各種硝子器 陶磁器、土器	4.50	6.00	△ 1.50	3.33	
		5.50	6.00	△ 0.50	0.91	
		4.50-5.50-6.50	6.00	△ 0.50	0.91	
雜	玩具 雜物 (ゴム靴、地下足袋を含む) ゴム製品各種 帽子 化粧品、小間物 化粧石鹸 漆器具 漆農具 安全携寸	8.00	6.00	△ 2.00	2.50	
		5.50	6.00	△ 0.50	0.91	
		6.50	6.00	△ 0.50	0.71	
		6.50	6.00-7.50			
		8.00	6.00-7.50			
		6.50	6.00	△ 0.50	0.71	
		6.50	6.00	△ 0.50	0.71	
		4.50	6.00	△ 1.50	3.33	
		4.50	6.00	△ 1.50	3.33	
		9.00	6.00	△ 3.00	3.33	
		平均 1籽當り	5.89	6.81	△ 0.42	
	0.0029	0.0068	△ 0.0039	13.44		

(十) 門司、神戸、大阪發船運賃比較表 (大阪商船、朝鮮郵船)

距離差 門 243K 神 239K 大阪 243K

Table with 7 columns: 貨物品名, 單位, 大連著, 北鮮著, 比較, 割合. Rows include 綿及糸, 各種織物品及製品, 金屬及其製品, 飲料及嗜好品, 生果、野菜, 藥品, 油脂及蠟, 紙及文房具, 木、竹、草製品, 陶磁器硝子製品, 雜.

(九) 新潟發船運賃比較表 (日本海汽船、大連汽船)

距離表 1.330 K

Table with 7 columns: 貨物品名, 單位, 北鮮著, 大連著, 比較, 割合. Rows include 綿及糸, 各種織物品及製品, 金屬及其製品, 食料飲料及嗜好品, 生果、野菜, 藥品, 油脂及蠟, 紙及文房具, 木、竹、草製品, 硝子製品, 陶磁器, 雜.

(十二) 名古屋發船運賃比較表 (大阪商船、日本郵船)

距離差 594K

Table with 6 columns: 貨物品名, 大連著, 北鮮著, 比較, 割合, 單位. Contains categories like 綿及糸, 各種織物及製品, 金屬及其製品, 食料及嗜好品飲料, 生果、野菜, 藥品, 油脂及蠟, 紙及文房具, 木、竹、草製品, 陶磁器及硝子製品, 雜.

(十一) 横濱、(清水) 發船運賃比較表 (大阪商船、朝鮮郵船)

距離差 257 K

Table with 6 columns: 貨物品名, 大連著, 北鮮著, 比較, 割合, 單位. Contains categories like 綿及糸, 各種織物及製品, 金屬及其製品, 食料品及嗜好品, 生果、野菜, 藥品, 油脂及蠟, 紙及文房具, 木、竹、草製品, 陶器及硝子製品, 雜.

(十四) 小樽、函館港發北鮮港著船運賃 (北日本汽船)

貨物品目	單位	函館發	小樽發
雜貨 1 等 品	1 屯ノ價 800 圓以上	11.70	12.00
雜貨 2 等 品	1 屯ノ價 400 圓以上	10.50	11.00
雜貨 3 等 品	1 屯ノ價 400 圓未滿	9.50	10.00
鹽 魚 布		11.30	11.50 12.50
昆 布		11.70 11.70	11.20 12.00

昭和 10 年 8 月改正ニヨル  
(十五) 表日本各港積北鮮港揚新舊船運賃比較表 單位圓

品名	單位	着港	京濱、清水				名古屋				阪神、宇治、關門			
			舊運賃	新運賃	割引額	割引率	舊運賃	新運賃	割引額	割引率	舊運賃	新運賃	割引額	割引率
從價品 (1 屯 1 千圓以上ノモノ)	100 圓	清津雄基	1.20	1.10	0.20	8.3	1.20	1.10	0.10	8.3	0.90	0.90	—	—
			1.30	1.10	0.20	15.4	1.30	1.10	0.20	15.4	1.00	0.90	0.10	1.00
最低運賃	1 件	清津雄基	1.20	1.10	0.10	8.3	1.20	1.10	0.10	8.3	0.90	0.90	—	—
			1.30	1.10	0.20	15.4	1.30	1.10	0.20	15.4	1.00	0.90	0.10	1.00
雜貨 (1 才又ハ 37.5 斤又ハ 40 才 價格 2 圓以上)	1.500 斤又ハ 40 才	清津雄基	11.50	10.50	1.00	8.7	11.50	7.50	4.00	34.8	9.00	8.80	0.20	2.2
			12.50	10.50	2.00	16.0	12.50	7.50	5.00	40.0	10.00	8.80	1.20	12.0
綿糸布	同	清津雄基	9.00	8.50	0.50	5.6	9.00	7.00	2.00	22.2	7.40	7.20	0.20	2.7
			10.00	8.50	1.50	15.0	10.00	7.00	3.00	30.0	8.60	7.20	1.40	16.3
鐵板、鐵管、橋桁、瓦斯管、棒鐵、電線其ノ他銅鐵材類	1.500 斤	清津雄基	10.00	9.00	1.00	10.0	10.00	5.50	4.50	45.0	8.00	7.80	0.20	2.5
			11.00	9.00	2.00	18.2	11.00	5.50	5.50	50.0	8.60	7.80	1.20	13.9
味噌、醬油、酢、漬物、酒類、清涼水	1.500 斤又ハ 40 才	清津雄基	9.50	9.00	0.50	5.3	9.50	7.00	2.50	26.3	8.00	7.80	0.20	2.5
			10.50	9.00	1.50	14.3	10.50	7.00	3.50	33.3	8.60	7.80	1.20	13.9
麥粉	同	清津雄基	8.80	8.60	0.20	2.2	8.80	5.30	3.20	36.4	8.00	7.80	0.20	2.5
			9.60	8.60	1.00	10.4	9.60	5.30	4.30	44.8	8.60	7.80	1.20	13.9
古新聞紙、煉瓦、スレド、土管、土砂、石材、セメント、木材、アスファルト、麻袋、檜材、其ノ他 1 才 2 圓以下ノモノ	同	清津雄基	7.50	7.00	0.50	6.7	7.50	5.30	2.20	29.3	6.10	6.00	0.10	1.6
			8.00	7.00	1.00	12.5	8.00	5.30	2.70	33.8	6.80	6.00	0.80	11.8
酸類、カーバイド、揮發油類	同	清津雄基	36.00	33.00	3.00	8.3	—	—	—	—	31.50	31.50	—	—
			40.00	33.00	7.00	17.5	—	—	—	—	36.00	31.50	4.50	12.5





昭和十年十一月十五日印刷  
昭和十年十一月十八日發行  
編輯兼發行人 篠崎嘉郎  
東京市豊谷區三丁目  
百七十七番地ノ十號  
印刷人 島連太郎  
印刷所 三秀合  
東京市神田區  
美土代町十六番地  
東京市豊町區丸ノ内三丁目十四番地  
發行所 日滿實業協會  
電話九ノ内(88)五〇六一番  
接對金口座 東京四五一〇二番

日本銀行  
 東京支店  
 昭和二十一年八月十八日  
 存款簿  
 存款人  
 金額  
 利息  
 手数料  
 合計  
 備考

